



クマを知り、クマに備えましょう

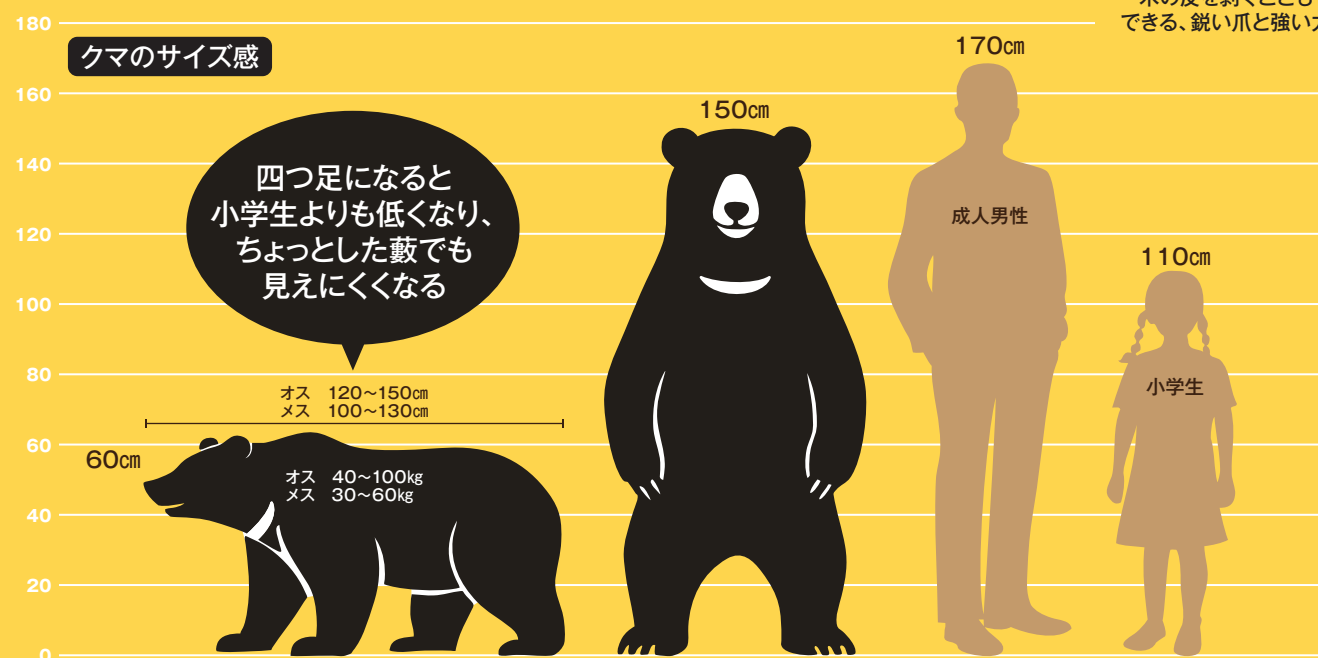
クマの出没が増え、クマによる人身事故も発生しています。
クマを寄せ付けない、クマに出会わないために、地域内・家庭内で確認しあいながら、クマを知り、対策を講じてクマ被害を防止しましょう。

クマの特徴

体長	100～150cm	嗅覚	犬よりも優れている
体重	30～100kg	知能	高い(餌の場所を覚える)
視力	人間と同じくらい	行動範囲	広い(20～100km ²)
聴覚	優れている (高音に敏感)	走る速さ	速い(100mを約7秒)



木の皮を剥ぐこともできる、鋭い爪と強い力



12月から4月頃まで冬眠

秋に十分栄養をとれたメスは、冬眠中に出産(1～2頭)

子育ては1年半ほど



冬 春

クマの1年

冬眠から目覚めると、樹木の新芽や山菜を探し活発化

山菜採りシーズンで人とクマの遭遇リスクの増大



秋 夏

繁殖期で行動圏が拡大

山の食べ物が少なく、農作物の被害が起きやすい時期



冬眠に備え、ドングリ類・サルナシ等の果実類を探し活発化

キノコ採りシーズンで人とクマの遭遇リスクの増大



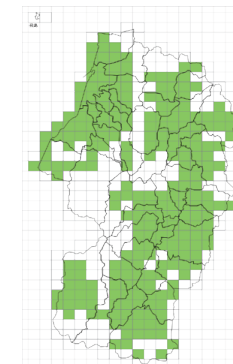
データで見てみるクマの現状と対策

目撃件数

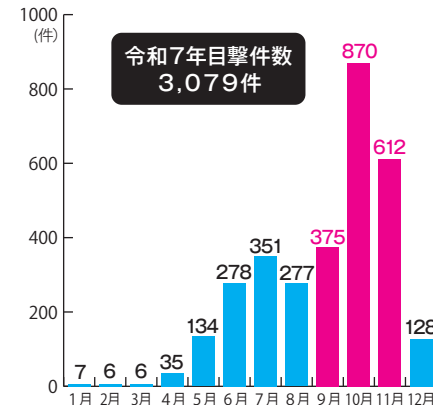
山の中に限らず、私たちの日常生活圏にも出没し県内全域で目撃されているクマ。過去最多となった令和7年は、9～11月の秋に特に多くなっています。

クマを誘引しない、出会わないよう行動することが大切です。

県内目撃場所



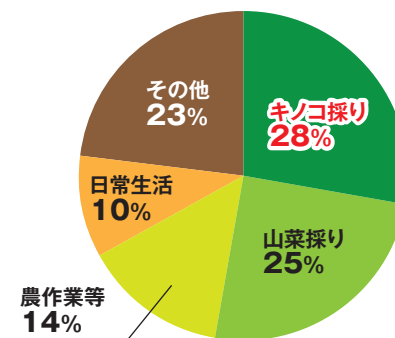
月別目撃件数



人身事故件数

山形県内では、これまで(昭和52年以降)クマによる人身事故が133件発生しています。このうち、キノコ採りや山菜採り中の事故が70件と最も多くなっています。

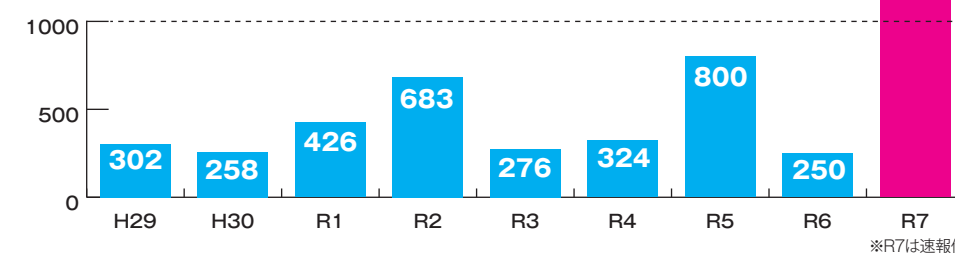
一方で、散歩などの日常生活や農作業中の事故も32件と身近なところでも発生してしまっています。



県民の命と生活を守るための捕獲(駆除)

地元猟友会の協力のもと、市町村、警察、県などの関係機関が連携し、クマが増えすぎないように抑制したり、私たちの日常生活に現れるクマをわなや銃を用い捕獲(駆除)し、クマ被害の防止に努めています。

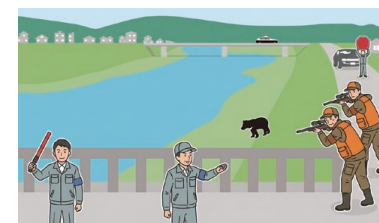
捕獲頭数



緊急銃猟って？

クマが人の日常生活圏に現れ、人への危害防止が緊急的に必要な場合、市町村が、警察、県と連携し、地元猟友会の協力のもと、銃を使って捕獲(駆除)するものです。

周辺住民への周知や、通行規制などを行い発射した弾が人に当たることがないよう安全を確保したうえで、実施されます。



山形県が全国最多

令和8年6月まで19件の実施
令和7年9月1日緊急銃猟運用開始以降の件数

春季捕獲って？

春季捕獲は、山の木々が生い茂る前の見通しがよい残雪期に、クマが増えすぎを抑制し、人身被害や農作物被害の防止を目的としています。山に入りクマを探し捕獲することはとても難しく、山や生態系の深い知見、高度な狩猟技術が必要です。

クマを恐れ、敬う畏怖の念をもって接する「マタギ文化」を継承しつつ、次世代の捕獲者の育成にもつながっています。

山形県が全国最多

今年の春季捕獲実績53頭



出会わないよう

クマに注意!

～一人ひとりの行動が命を守ることにつながります～

私たちが できること

クマに出会ってしまったら、
できる対策は少ない。
出会わないように対応
することが大切。



遭遇時の対応

出会ってから
できることは少ない

遭遇前の対応

予防と
備えが大切

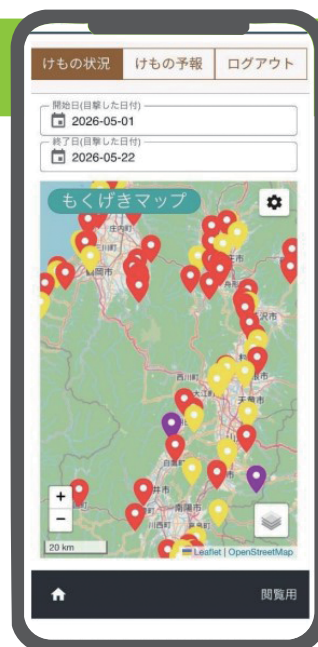


クマの目撃情報を確認しましょう!



スマートフォンのアプリ
「けものおと2」
県内の目撃情報を地図上で
見ることができます

- 黄色：市街地以外
- 赤色：市街地
- 紫色：市街地以外
(人身被害あり)
- 黒色：市街地
(人身被害あり)



App Store からダウンロード または Google Play で手に入れよう から

けものおと2 検索

ダウンロードはこちらから▶



iPhone/iPad



Android

クマを目撃した時は各市町村へお知らせください。

クマ被害防止7ヶ条



身を守る行動

誘引防止

1. 目撃情報を確認する
2. クマが侵入しないよう自宅や倉庫の鍵をかける
3. 音の出る物で自分の存在をクマに知らせる
4. なるべく複数人で行動する
5. 目撃情報のあったところでの早朝、夜間の外出は控える
6. 生ごみ、取り残しの果実や野菜は放置せず処分
7. 藪や下草刈り、不要な果樹を伐採

キノコ採りなど山の中は特に注意

山はクマが
生息する場所

今年は、山菜採り中と山の中での人身事故が5件発生しています。(令和8年6月末時点)

秋はクマが冬眠に向けて餌を求めて活発に動き回ります。

キノコ採りや行楽で人とクマがバツタリ遭遇してしまい、思わぬ事故となる可能性が高くなります。山に入る人、その家族・友人で慎重な計画か、準備万端かを確認しあいましょう。



- ① 常に周りを注意する
- ② ヘルメットなど装備充実
- ③ クマスプレーはすぐ使用できるように
- ④ 痕跡を見つけたら、静かに立ち去る
- ⑤ 子グマの近くには親グマもいる

クマと出会ってしまったら・・・



背を向けずゆっくり
後退する

クマスプレーを
使用する

近くの車や民家に
助けを求める

最終手段
防御姿勢をとる

攻撃されそうになったら、
致命傷をさけるため、
うつ伏せになり、顔、胸、腹
を守りましょう